

コミュニティ・スクールだより

No4

地域学校協働活動の様子

地域の住民や団体の皆様の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていただいております。どの取組も、地域との“つながり・きずな”が実感できるものです。その一部を紹介します。

藤棚の剪定（環境整備）

本校の三ツ城古墳公園側に、藤棚があります。開校からのもので、植えられてすでに24年が経っています。毎年この時期になると、強い日差しを遮ってくれその日陰に癒されています。しかしながら厄介な点が一つ。日当たりが良いせいか、枝の成長が著しく棚からはみ出すように蔓を伸ばします。近くを通りかかる車や歩行者の邪魔をしかねません。

今年も三ツ城住民自治協議会西条中央支部の方々をお願いし、藤棚の左右に垂れ下がるように伸びている藤蔓の剪定をしていただきました。歩行者や通行する車に迷惑をかけないように注意を払いながら作業は進みました。刈込バサミや剪定バサミを使い、刈り込む箇所によってはノコギリやヘッジトリマー（剪定用電動バリカン）を使っでの作業でしたが、蔓が複雑に巻き付いている部分の剪定はなかなか苦労するところです。しかしながら、終始慣れた手つきでの作業に感心しておりました。

この作業は毎年のように、三ツ城住民自治協議会西条中央支部の方々にボランティアでの作業を行なっていただいております。ありがとうございました。



平和への願いを込めて（平和学習）



昭和20年8月6日午前8時15分、一発の原子爆弾が広島市中心部に投下されました。強烈な爆風と熱線は、爆心地から2km以内の建物ほぼすべてを破壊して焼き尽くしました。2kmを超える地域でも、壊滅的な被害を受けました。その年の終わりまでに、14万人もの人々が亡くなられたといわれています。

今年も原爆の日を前に、8月5日を全校登校日とし平和学習を行いました。全校で平和学習バスに参加した代表児童からの話を聞いた後、各学年がそれぞれ絵本や原爆投下に関する資料等で平和学習を行いました。6年生は、地域にお住まいの3名の方に来校いただき、自らの戦争体験や被爆体験、平和への思いや願いなどについてお話をうかがいました。

語り部として来校された方より、平和への願いを込めて折った“鶴”をいただきました。命の大切さ・平和の尊さを実感する一日でした。